

# 令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名		能勢町商工会
	代表者職・氏名		会長 中西信介
	所在地		〒563-0352 大阪府豊能郡能勢町大里142
	担当者	職・氏名	事務局長 小倉順一
		連絡先	TEL（直通）： 072-734-0460
Fax: 072-734-2286			
		E-mail: <a href="mailto:nosesci@ivy.ocn.ne.jp">nosesci@ivy.ocn.ne.jp</a>	
①設立年月日			昭和41年12月10日
②職員数 (うち経営指導員数)			4名(経営指導員4名) (令和3年3月31日現在)
③所管地域			能勢町
④管内事業所数			365事業所(平成28年度経済センサス)
⑤管内小規模事業者数			232事業所(平成28年度経済センサス)
⑥会員数(組織率)			285事業所(組織率78.1%) 令和3年3月31日現在
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要(定款記載事項等)			
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行なうこと。</p> <p>②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③商工業に関する調査研究を行なうこと。</p> <p>④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>⑤展示会、共進会等を開催し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行なうこと。</p> <p>⑧商工業者の福利厚生に資する事業を行なうこと。</p> <p>⑨輸出品の原産地証明を行なうこと。</p> <p>⑩商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑪行政庁等の諮問に応じて答申をすること。</p> <p>⑫社会一般の福祉の増進に資する事業を行なうこと。</p> <p>⑬商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行なうべき事務(その従業員のための事務を含む。)を処理すること。</p> <p>⑭行政庁から委託を受けた事務を行なうこと。</p> <p>⑮前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

<p><b>(1) 事業の目標</b></p> <p>景気はおおむね回復傾向にあるといわれていた中で、突如あらわれた新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの事業が経営に悪影響を受ける事態となりました。新型コロナウイルスの感染終息が見込めない状態の中で、地区内小規模事業者を取り巻く環境は少子高齢化による消費人口の減少や、後継者不足の問題と重なり、大変厳しい状況です。そのような中において商工会としては、相談業務をより積極的に展開し、事業所の抱えている経営課題を的確に把握してそれらを解決に導く支援を実施致しました。具体的には経営相談支援事業や地域活性化事業を積極的に進め、事業者が抱えている問題点を探り出し、情報提供や種々の施策を活用し支援を行って問題の解決に努めました。また、地域資源を活用した地域特産品の開発を進めることにより、地域の活性化をはかることを目標としました。</p>
<p><b>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</b></p> <p>「経営相談支援事業」や「地域活性化事業」を行うにあたり、新型コロナの感染状況に気を配りながらの試行錯誤での実施となりました。その中でも可能な限り事業者の生の声を直接聞く事が大事であることから、できるだけ丁寧な説明指導を心がけ、小規模事業者の事業発展をはかることにより、地域の活性化につなげる努力をしました。コロナ禍による事業所支援の相談窓口の開設や各種給付金の申請サポート等の要望に対応しながら、相談支援事業などを実施する事で、事業経営のモチベーション維持を保つよう努め、それを核に地域コミュニティが成長発展し地域の振興につながりました。</p>
<p><b>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</b></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大による事業者への影響がこれほど大きくなることは予想できておらず、事業者支援にも大きな影響を受けました。業種や業態により影響は様々で、中にはコロナ景気で予想外に売上を伸ばす事業所もありますが、大半が苦戦をしいられている現状となっております。その中で各種支援策についても申請がスマホやパソコンでの受付となっているために、不慣れな高齢事業主の支援要請が多数にのぼり普段の状況とは異なる様子となりました。</p> <p>そしてまた当地域は都市部に近い田舎であって、大きな消費地が間近に存在します。近年、新名神高速道路の川西インターが開通し交通の利便性が高まったこともあり、新しい産業を呼び込もうとする気運は高まっていますが、なかなか現実的には実現できていない状況であります。</p> <p>地域の活性化については、各事業所をはじめ各団体、行政等がそれぞれに関心を示し、6次産業や能勢ブランド構築に向け動き出しています。今後はそれらを上手にコーディネートすることが重要であることから、商工会として積極的に取り組み、支援を実施していきます。</p>
<p><b>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</b></p> <p>さまざまな事業や支援策が用意される中で、その必要性や情報の内容についての認識度に大きな差が生じて来ており、それが業績の差となっているケースも見受けられます。情報を伝える側からは「丁寧な伝達」が必要であり、受ける側はその自分にとって必要な情報をどのように活用していくか、収集力をしっかり築くことが必要であると考えます。そのことをしっかりと頭にいれながら事業を実施することが必要です。</p>
<p><b>(5) 次年度の取り組み</b></p> <p>事業者から寄せられる相談については事業主と一緒に考えてアドバイスすることは当然ですが、今後はもう一歩進んでこちら側から事業者により具体的な提案を投げかけるように努力し、情報発信していきます。</p>

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 能勢町商工会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>令和2年度は新型コロナウイルスによる感染が事業経営に大きな影響を及ぼし、その対応に追われる1年となりました。まず感染防止対策の方法やそれに係る費用の捻出方法、また売上そのものが落ち込んでの業績悪化による資金繰りの相談などが急激に増えた状況となりました。誰もが経験したことの無いコロナ禍の中で、新たなコロナ支援策が次々と誕生しました。それを対象者ごとに区別してPRするとともに利用を促し、少しでも業績悪化をくい止めるための努力を試行錯誤的に実施致しました。</p> <p>(代表事例)</p> <p>コロナ禍で経営環境の厳しい中でありますが、能勢町の大都市の近郊にあってアクセスの良いところや緑あふれる自然環境の良さを気に入り、創業を考える方の相談が少しずつではありますが増えていきます。その方々の相談を受け創業塾の案内をし、事業計画、創業資金の調達について支援し、開業に結びつき、またその後も事業所のピーアールとして販路支援を行ってきました。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	92	90	97.8%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	1	10.0%	2	
金融支援（紹介型）	支援数	2	1	50.0%	3	
金融支援（経営指導型）	支援数	15	18	120.0%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	2	100.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	25	43	172.0%	5	
記帳支援	事業所	34	31	91.2%	5	
労務支援	支援数	40	37	92.5%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	15	13	86.7%	3	
マーケティング力向上支援	事業所	17	8	47.1%	3	
販路開拓支援	支援数	30	27	90.0%	5	
事業計画作成支援	支援数	5	9	180.0%	5	
創業支援	事業所	5	3	60.0%	3	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	10	100.0%	4	
コスト削減計画作成支援	事業所	25	31	124.0%	5	
財務分析支援	事業所	24	41	170.8%	5	
5S支援	事業所	15	14	93.3%	4	
IT化支援	事業所	10	4	40.0%	3	
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1	
事業承継支援	事業所	5	3	60.0%	3	
災害時対応支援	事業所	0	0		1	
フォローアップ支援	事業所	20	0	0.0%	1	
結果報告	事業所	90	90	100.0%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>下記の各種専門相談についても新型コロナウイルス関連の相談が多く発生し、その対応に迫られた年でした。また開催方法についてもWEB相談を取り入れ、ソーシャルディスタンスの確保やアクリル板の設置、マスクや消毒液の活用などで感染対策を考慮し開催致しました。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	50	54	108.0%	5
法務相談	継続	相談件数	10	13	130.0%	5
労務相談	継続	相談件数	5	9	180.0%	5
経営相談	継続	相談件数	15	16	106.7%	5
融資相談	継続	相談件数	9	7	77.8%	4

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
令和2年度の地域活性化事業については新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けて、試行錯誤の年となりました。セミナーやイベントの開催が予定通りには実施できず、場所や収容人数の見直し、マスク、消毒液、アクリル板など感染防止器具を確保しながらの開催となりました。また、リモートやWEBを利用しての会議や説明会となり、十分な説明ができていないか、また反応はどうなのかといった事業成果が普段の年より見えにくい結果となりました。しかし、一方で地域活性化事業を進める中で、コロナ禍での対応策や支援金等の情報のやり取りが活発化するなど、連携強化やネットワークの強化につながる場面も見受けられた。										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業支援事業	13	12	92.3%	83.3	創業につながった事業所	2	3	150.0%	5
○	働きやすい職場環境を目指した雇用・労働啓発セミナー事業	15	11.5	76.7%	85	自社の労務管理の見直し、新たな対応をした事業所の割合	70%	75%	107.1%	5
	自然災害に備えた企業の対策及び地域企業間の連携についての勉強会	40	13.5	33.8%	82	事業継続計画書の作成支援数	40	10	25.0%	2
	女性の視点・感性を活かしたおもてなし観光について	38	23	60.5%	88	SNS等で発信した事業者の割合	70%	71%	101.4%	5
	儲けのしくみを理解し、資金繰りの安定を目指すための適正会計セミナー	25	22	88.0%	73.1	参加事業者の理解度と実践性があったと感じた事業所の割合	70%	70%	100.0%	5
(2) 広域事業(幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域金融機関との支援ネットワーク事業	30	29	96.7%	92.8	今後の経営に役立った事業所割合	70%	70%	100.0%	5
	地域資源発掘事業	55	52	94.5%	81.2	新事業創出や所得向上につながった事業所割合	70%	70%	100.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

能勢町商工会

事業名		創業支援事業							
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	能勢町内では少子高齢化や人口の減少が進む中、消費者のニーズが多様化し大型店へ流出することなどで廃業が増加し、商工業者数は減少する一方である。また、今年度は新型コロナの影響もあり事業者にとっては大変厳しい経営環境であった。そのような中でも開業を支援して事業者を増やしていく事が必要である。創業を考えている者・創業を目指す者・創業間もない者を掘り起こし、創業に際しての心構えや必要とされる知識の習得を目指しセミナーを開催し、より具体的な問題解決のため個別相談を実施し、創業実現へむけて円滑に事業をすすめていけるよう支援をしてきた。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	創業を考えている者、創業を目指す者、創業後間もない者、新たな事業を立ち上げようとする小規模事業者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	「経営」・「販路開拓」・「財務」・「人材育成」というテーマに沿って11月、に4回実践創業塾を開催した。創業する際に必要な知識や心構えなど初歩的な内容から創業に関して目標設定や事業計画書の作り方などを勉強し、テーマにより資金調達の方法やマーケティングによる市場のとらまえ方、税務申告に対して記帳の仕方や人を雇う時の注意点等の講座を開催した。 ・セミナー：11/16「経営」参加者（5人）、11/20「財務」参加者（4人）、11/24参加者「販路拡大」（5人）、11/30「人材育成」参加者（4人） ・個別相談：5/19、5/27、6/5、2/15（4回）を実施。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	セミナー実施の実施支援や広報等の協力も得た。						
		③市町村連携	能勢町担当者としてセミナー実施やチラシ配架等の協力も得た。						
④相談相乗	創業塾参加者についてカルテ化を実施した。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	13.0	総支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	92.3%	満足度	78.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「経営」「財務」「販路開拓」「人材育成」というテーマで4回実践創業塾を開催し、自分の思いや夢を形にしていくセミナーを開催した。事業の強みや弱みを把握しながら今後の事業計画についても検討を加えた。今後の事業運営に、より具体的に目標を設定していく事で事業意欲がました。また、それぞれが抱えている問題にも方向性をもって事業運営できるようにした。特定創業支援事業の認定（1件）や融資実績（2件）へと支援を結び付けた。							
		代表指標	創業につながった事業所						
	数値目標	2	実績数値	3.0	目標達成度	150.0%			
	成果の代表事例	創業の計画をしていくにあたり目標の設定および事業計画の立て方を支援し、資金調達を行った。事業所のピーアールの方法の検討等おこない創業が円滑に行うことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	能勢町と協力し特定創業支援事業として行ってきたが、反響等が減ってきている、開催時期、開催内容やSNSを活用した告知方法等を検討していきたい。そして開業後5年未満への方への参加も積極的に促していく。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	90.0%	満足度	83.3	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	創業塾を通じて事業経営の知識の習得ができ、創業するにあたり自信がもてるようになった								
		指標	創業に際しての知識の習得をしてもらう							
		数値目標	70.0%	実績数値	70.0%	目標達成度	100.0%			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	100.0%	満足度	90.0	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	創業塾を通じて事業経営の知識の習得ができ事業間のネットワークもでき創業に対して意欲が持てた。また、開業資金調達等の支援ができた								
		指標	創業に際しての知識の習得をってもらう							
		数値目標		実績数値		目標達成度				

能勢町商工会

事業名		働きやすい職場環境を目指した雇用・労働啓発セミナー																																							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>町内事業者は鉄道もなく公共交通機関の整備が不十分なため、通勤においてもマイカーに頼りがちで、他の地域からの通勤が課題となることが多く、新規雇用及び職場定着への課題も多い。又、中小企業の従業員については高齢化してきており、退職などによる人手不足の解消の為に、より柔軟で幅広い求人、退職予定者に対しての雇用継続を行うことが必要不可欠となっている。そのためには、継続して働く意識を持ってもらうための、しっかりとした労務管理、又、2019年4月1日より順次施行されている働き方改革への対応等、事業主、従業員が利用すべき施策等を学ぶ場が必要だと考える。このような状況に対応するためには、定年退職後の高齢者、育休後の女性労働者をターゲットとした短時間でも働ける仕組み、多様な人材が活躍できる働きやすい職場づくりやそれに対応した労務管理についての知識やノウハウも必要となる。</p> <p>企業の事業主や人事労務担当者を対象に、働きやすい職場環境を目指した、労務管理・労働法関係の最新情報・社会保険の手続き・雇用保険の助成金等、基礎的なことから最新の情報を知る機会を提供するセミナーを開催、また、小規模事業主、及び、人事・労務担当者間の交流を図ることにより、他社での労務問題・人材不足の解消方法を学び、人材確保と職場定着並びに人材確保へつないだ。</p>																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小規模事業者の事業主並びに人事・労務担当者																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>&lt;人材交流型&gt; 9月後半講師を選定し連絡。講師と打ち合わせし、日程調整等を行い、グループワークタイプのセミナーを依頼、内容等の打合せを行い、下記のとおり開催となった。 11月13日 「組織と業務を見直す！1人ひとりがイキイキと働ける職場づくり」</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府雇用推進室労働環境課の協力のもと、セミナー、交流会を実施した。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">役場及び役場の出先機関へ依頼し、チラシ等を配架した。</td> </tr> <tr> <td>④相談事業相乗</td> <td colspan="7">当セミナー参加者からカルテ化、カルテ化事業者を当セミナーの参加へ結びつけた。</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府雇用推進室労働環境課の協力のもと、セミナー、交流会を実施した。							②広域連携								③市町村連携	役場及び役場の出先機関へ依頼し、チラシ等を配架した。							④相談事業相乗	当セミナー参加者からカルテ化、カルテ化事業者を当セミナーの参加へ結びつけた。						
	①府施策連携	大阪府雇用推進室労働環境課の協力のもと、セミナー、交流会を実施した。																																							
	②広域連携																																								
③市町村連携	役場及び役場の出先機関へ依頼し、チラシ等を配架した。																																								
④相談事業相乗	当セミナー参加者からカルテ化、カルテ化事業者を当セミナーの参加へ結びつけた。																																								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.5	支援実績率	76.7%	満足度	85.0																																	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>今回は働き方改革に取り込むことの重要性、働き方改革が始まった背景等を理解してもらい。働き方改革を遵守することのメリットについて一定理解していただけたと感じる。又、ライフワークバランス（仕事と家庭で相乗効果を図る）を大切にすることにより、従業員の働く意欲がわくことを理解し、結果、相互のコミュニケーションを図ることが大切であることを理解してもらった。</p> <p>人手不足の業態においては、短時間でも働いてもらえるよう、無理のない人員配置を行うため、短時間就労の希望者においても雇用していくと言われていた。</p>																																							
	代表指標	自社の労務管理の見直し、新たな対応をした事業所の割合																																							
	数値目標	70%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%																																			
成果の代表事例	労働時間帯の違う従業員間で、会議等で集まることがなく、改善方法等について話をするきっかけがなかったが、付箋会議を実施したところ、いろんな意見を聞くことが出来た。また、明確な就業時間がなかった現場において、明確な基本時間を制定することにより、従業員へ残業手当を支払うこととなった。																																								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業の満足度は高いが、参加企業については同じような企業が多く、小規模事業者においては人員が少ないので参加できないとの声もあった。又、新規事業所の参加が少ないので、もっと積極的に労働保険加入事業者へ向けたPRを行い、セミナーへの参加を促す。また、コロナ感染症予防対策としてインターネットを利用した受講についても検討していく。																																							

能勢町商工会

事業名		自然災害に備えた企業の対策及び地域企業間の連携についての勉強会							
想定する実施期間		2 年度～ 2 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>昨今、南海トラフ地震対策等が話題となっているが、当地域においては地形等を考えるとそこまで危機感に迫られていなかった状況にある。しかし、2018年の台風21号等により、地盤が緩んだ崖が崩落し、道路の寸断や長期の停電等も発生し、災害当初は事業所の運営が難しく、休業等が必要となった事業所もあった。</p> <p>今後、同様のことが発生した場合、企業としてどのような行動をとれば良いのか、災害が発生した際の長期の停電等を想定した従業員・顧客への対応についてを学ぶ機会を設け、災害時へ備えることにより、企業の危機的状況からの早期の回復を目指す。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内及び近隣の事業所、経営者、災害対策等を担当している従業員等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【人材育成型】</p> <p>5月頃にセミナーをお願いする機関等について検討。決定はしていたが開催を見合わせていた。12月初旬、第1回セミナーを計画、下旬に講師へ依頼、調整の結果、下記のとおり開催となった。</p> <p>令和3年1月26日「大雨・土砂災害等に備えた災害時における初期対応について」 講師:日本赤十字啓発プログラム指導員 募集人数 20名 申込 10名 参加者 9名</p> <p>1月中旬、第2回セミナーを計画。状況を注視し、調整の結果開催決定。2月上旬講師へ依頼。 令和3年3月3日「知ってて安心。いざというときに備える応急手当術」 講師:豊中消防 北消防署 能勢町分署 募集人数 20名 申込数 6名 参加者 5名</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	役場及び役場の出先機関へ依頼しチラシを配架した。							
	④相談相乗	当セミナー参加者からカルテ化、カルテ化事業者を当セミナー参加へ結びつけた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	33.8%	満足度	82.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>災害が発生した時、事業者としてどのような対応をしたら良いのかを知っていただき、事前準備が必要であることを理解していただいた。又、セミナー開始前にハザードマップを配布したことにより、自身の事業所が注意を要する場所なのかを認識し、災害発生時にどのような行動をとれば良いのか等を社内で話し合うことにより、発生時の速やかな対応へつなげた。</p>							
		代表指標	事業継続計画書(これだけはシート)の作成数(電話でのききとりによる)						
		数値目標	40	実績数値	10	目標達成度	25.0%		
	成果の代表事例	事前に準備することの大切さを学び、実際にどのような行動をするのか、といった災害時の行動について事業所内で話し合い、それぞれの担当を決めることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>事業継続計画などの作成支援については参加企業を対象としていたため、興味はあるが時間の関係・コロナ感染への恐怖心という理由により参加できない・参加を見送るといった事業所が多かった。今後はインターネットも活用し、集合型とネット回線を同時に使用した研修についても検討が必要と考える。</p> <p>事業継続計画等の作成については簡単な様式を活用し、普段の支援の際に活用していく。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	9	支援実績率	45.0%	満足度	8.0	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業継続計画書（これだけはシート）の作成支援数（アンケート・電話での確認）								
		指標								
		数値目標				実績数値			目標達成度	
	その他目標値の実績	目標値(計画)	9		目標値(実績)	6		目標達成度	66.7%	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	4.5	支援実績率	22.5%	満足度	8.6	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業計画書（これだけはシート）の作成支援数（アンケート・電話での聞き取り）								
		指標								
		数値目標				実績数値			目標達成度	
	その他目標値の実績	目標値(計画)	5		目標値(実績)	4		目標達成度	80.0%	

能勢町商工会

事業名	女性の視点・感性を活かしたおもてなし観光について								
想定する実施期間	2 年度～ 2 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	能勢町内は鉄道等の交通機関がなく、自動車が主な移動手段となっている。また、他の地域へ行く為に能勢町を通過する車も多い。そして、数少ない公共交通機関であるバスも1時間に1本程度の運行であり、車を持たない人が増加している中、気軽に行ける観光地としてのPRがしにくい現状である。今回、近隣在住の主婦などをターゲットとした隙間時間に来てもらえるような観光資源等を掘り起こし、公共交通機関の不便さを逆手に取った移動手段としてのレンタサイクルの活用やウォーキング等、観光客自身で行動を考え、数時間程度で町内の観光資源・店舗をまわることができる仕組みについて、店舗間で話し合いを行い、それぞれ作成したツールを店舗等に配置し、相互の宣伝効果を促す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内事業者及び地域内の飲食店・店舗・物産店等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>主に近隣在住の主婦等で、あえて車で行動できない人を想定した観光案内をすることにより、地域の観光資源の紹介、及び店舗紹介へとつなげる手法を学びながら店舗間の交流を図る。</p> <p>8月頃、町内の観光に詳しい人、及び観光ビジネスに詳しい講師を選定。                  【人材育成セミナー】 令和2年8月3日（月）19:30～21:00                  【場所】 能勢町商工会館                  【内容】 能勢の魅力を発信！お勧めしたくなる観光スポット探しについて</p> <p>【人材交流型セミナー】 令和3年3月22日 19:00～20:30                  【内容】 「能勢町ふるさと納税返礼品出品&amp;活用セミナー」</p> <p>町内の観光資源の再確認、及びふるさと納税返礼品への出品を目指す。又、独自の企業PR資料の作成等、今後のECサイト活用へ向けた販路開拓支援を実施。</p>							
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	④相談事業相乗		
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	38	総支援企業数(実績)	23	支援実績率	60.5%	満足度	88.78
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	観光資源のPRについて、観光資源と考えていなかったものが観光資源になるということを知り、資源を活用した自社のPRや地域PRについて考え、実施するきっかけとなった。ふるさと納税の仕組み、金額設定、取り組み方等を詳しく学ぶことが出来、現在活用している事業所の実際の取組例も大変参考になった。取扱商品が少ない事業所については他の商品と同梱したものを出品することができれば・・・と出品に前向きな事業者も多かった。又、能勢町役場担当者と話をする場を設けていた為、双方が共に今後へ向けた取り組みを行えると好評であった。							
	代表指標	セミナーに参加し、自社のPRと共に地域の観光資源についてSNS等で発信した事業者の割合。							
	数値目標	70%	実績数値	71.0%	目標達成度	101.4%			
成果の代表事例	従来より販売している商品に加え、地域資源である栗・野菜等を活用した商品の開発を行い、ふるさと納税返礼品出品へ向けた取り組みを実施。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	町内事業者に「地域資源＝有名な観光スポット」だけではないということをもっと知っていただき、町内外へ向けた商品の開発、及び事業所のPRを積極的に行う。また、コロナ禍によりセミナー開催の判断に時間を要した結果、感染が拡大していく状況の中、参加を見送る事業所が続出するといった状況を生む結果となった。今後は開催時期について迅速に判断して開催し、事後フォローができる体制をとっていく。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績 ／ 達成度 ①	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	20	支援企業 数(実績)	14	支援 実績率	70.0%	満足度	88.7
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	参加企業、14社のうち、10社が地元の地域資源となる観光地について認識し来店顧客への紹介及び自身のSNSなどの紹介を行った。							
		指標	セミナーに参加し、自社のPRと共に地域の観光資源についてSNS等で発信した事業						
数値目標	70%	実績数値	71%	目標達成度	101.4%				
実績 ／ 達成度 ②	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	15	支援企業 数(実績)	7	支援 実績率	46.7%	満足度	88.5
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	ふるさと納税返礼品への参加が販路支援へつながることについて理解できた。又、好事例、ふるさと納税サイトへの出品方法について理解できた。							
		指標	セミナーに参加し、ふるさと納税返礼品の出品等について理解した事業者						
数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%				
実績 ／ 達成度 ③	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	3	支援企業 数(実績)	2	支援 実績率	66.7%	満足度	95.0
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	ふるさと納税返礼品セミナー及び交流会の参加者が販路開拓を目的としたふるさと納税返礼品への出品についての取組はじめた。							
		指標	ふるさと納税サイトへ実際に登録申請について取組を始めた事業者数						
数値目標	3	実績数値	2	目標達成度	66.7%				

能勢町商工会

事業名		儲けのしくみを理解し、資金繰りの安定を目指すための適正会計セミナー							
想定する実施期間		2 年度～ 2 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	令和元年10月の消費税率改正で消費税率が10%に上がったことにより、企業において経費などの支払金額そのものが増加している。又、キャッシュレス決済の増加による入金遅れなどに対応するためには日々の適正な会計処理が大切であり、自社のキャッシュフローが把握できていないと資金繰りが悪化する原因にもなる。 軽減税率制度により、帳簿の区分経理、区分記載請求書などの交付等、事業所としては多くの対応が必要となる。令和5年からは適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が始まると適格請求書発行業者の登録が必須となることから全事業所に対して消費税の区分記載、および適格請求書等保存方式の対応が必要であると考え。また、日々の記帳についての知識が乏しい事業所も多く、免税事業場においては、適格請求書等発行業者になることにより、免税事業者から課税事業者へと変わることになるため、納税の準備も必要となってくることから早めの知識習得が必要だと考える。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	企業のキャッシュフローの考え方について理解できていない事業者及び、消費税の区分経理に対応できていないすべての事業者、経理担当者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	消費税の税率改正、キャッシュレス決済の普及による入金遅れが生じ、企業の資金繰りが徐々に圧迫されてきている状況にある。又、令和5年の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入に伴い適格請求書発行事業者への転換を迫られる事が予想され、消費税課税対象が全業者に及ぶと判断されることから、早期の対応が不可欠である。  <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		③市町村連携	公共施設へのチラシの配架等本事業のPR面で、協力依頼した。						
	④相談相乗	記帳支援・財務分析等へのカルテ化へつなげた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	72.0%	満足度	73.1%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<人材育成型> 9月上旬キャッシュフロー会計に詳しい講師を選定。9月下旬に講師へ依頼。講師へキャッシュフロー会計、及び計算方法等について説明し、計算を依頼。 第1回目 令和2(2020)年 10月23日(金) 14:00～ 「どんぶり勘定からの脱却！資金の動きをつかんでがっちり経営」 場所：能勢町商工会館  11月上旬、税務署へ講師を依頼したところ、コロナ感染症の関係で説明会等はお断りしているとのことであった。そのため12月下旬にテーマに沿った講師を選定。中旬に講師へ依頼。具体的なあらまし、又、実施できるような内容で依頼。 第2回目 令和3(2021)年2月10日(水) 14:00～ 「確定申告準備の為の経理処理と、区分記載請求書の書き方及び区分経理について」 場所：能勢町商工会館  第1回目のセミナーを初心者向けにお願いしていたが、若干難しい内容となってしまった。しかし自身がキャッシュフローの考え方の必要性及び記帳の重要性を実感することにつながり、未払金の準備や計画的な決済方法を考えるきっかけになった。 第2回目については税務署の資料を基に資料を作成し、初心者向けで好評であった。又、税制改正及び確定申告の為の経理方法についての解説もあり、今後事業所が対応しなければならないことを知ることが出来た。							
	代表指標	参加事業者の理解度と実践性があったと感じた事業者の割合							
	数値目標	70%	実績数値	70.0%	目標達成度	100.0%			
成果の代表事例	区分経理の為の帳簿整備等を行うため早期の記帳を促す事が出来る。又、キャッシュフローに基づいた早期の記帳を行うことにより、自身がおかれている経営状況を把握し、資金繰りの悪化を防ぐことが出来た。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	受講者の中には、インボイス制度が始まると消費税非課税事業者から課税事業者へ変更しなければならないのか？と悩まれている方が多かった。 今後もインボイス制度の開始にそなえ、事業所への周知を徹底し対策を支援していく。							

能勢町商工会

事業名		地域金融機関とのネットワーク事業							
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	豊能町、能勢町地域は公共交通機関に乏しい山間地域であり、若者が働く職場も少なく、若い夫婦が都市流出傾向にある。ゆえに少子高齢化が一段と進み、人口も減少を続けている。また、今年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出により、外出が制限されるなど事業主にとっては大変厳しい状況となった。このような時こそ融資情報や商工振興施策の情報は中小企業にとって大変重要であるにもかかわらず、「知らなかった」という声が多く聞かれる状態となっている。しかし、そのような事業所こそが最も事業資金の借入需要が高い事業所でもある。そこで、商工会、地域金融機関、行政機関がネットワークを組んで、各機関の取り組み施策情報を共有し、その情報を積極的に発信することが必要であり、また、望まれている。今後、地域支援ネットワークを活用することで、大阪府の制度融資をはじめ、各種の事業融資の情報を提供し、積極的に利用促進を図るなど、金融と経営支援の一体的な支援を継続して実施していく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	豊能町および能勢町内の全事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>10月27日 大阪府金融課、大阪信用保証協会、日本政策金融公庫、池田泉州銀行および両町行政機関に第1回会議の案内を送付</p> <p>11月26日 第1回ネットワーク会議を9名にて開催し、各機関の本年度の活動状況や新たな取り組みについて、情報を共有。また、昨年度の反省点を踏まえ、今年度のセミナーおよび交流会の実施方法と今年度の実施日程について協議し、地域小規模事業者にとって参加するメリットが出るように、各機関が注意を払い実施することとなった。また今回新型コロナウイルス対策としてインターネットを活用し、豊能町商工会へはZOOM配信をして2か所を結び同時開催を行った。</p> <p>2月4日 能勢町商工会館で地域金融機関合同セミナーを開催（参加者14名）</p> <p>2月4日 豊能町商工会館で地域金融機関合同セミナーをZOOM配信（参加者15名）</p> <p>のちに事業融資に結びついた案件14件</p> <p>また等商工会で開催しているの創業塾において、受講者に各機関の融資案内などを配付し、PRする。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	府金融課および大阪信用保証協会の担当者を交え会議やセミナーを実施した。						
		②広域連携	豊能町および能勢町商工会が共同で事業を実施し、主幹は能勢町商工会が担当した。						
	③市町村連携	両町行政担当者を交え会議やセミナーを実施し、チラシ配架等の協力も得た。							
	④相談相乗	セミナー参加者についてカルテ化を実施した。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	96.7%	満足度	92.8
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年度は新型コロナウイルス対策もあり各金融機関で融資実績が生れており、中にはこのセミナー参加を機に、地域金融機関での融資を申し込まれた案件も見受けられた。また各機関の融資制度や取り組み内容について、管内事業者に大きな宣伝効果をもたらしている。また、各機関の取り組み内容や進捗情報が情報共有された結果、事業者へ資金繰り等のアドバイス実施する際、より身近で現実的な内容を提案できるようになった。							
		代表指標	参加者へのアンケート調査で経営に役に立った回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	70.0%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	今回、町内で創業予定者があり、これまで金融機関とはあまり付き合いが無かった事業者が開業資金の調達を計画され、セミナーおよび交流会に参加し、事業内容と融資希望を聞き、融資実行に至った。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	7	目標値(実績)	7	目標達成度	100.0%			
実施結果	地域支援を通じて個別相談に至った支援対象企業数								
	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	各機関が背負っている使命や目的が異なることから、ウインウインの関係を築くことが困難であり、深い交流を持つことが難しいと感じた。しかし、府制度融資のネットワーク型の利用が可能となっており、その利用を促す意味でも金融機関の融資窓口で府制度融資を選択肢として提示することが重要であり、その点について今後も金融機関に働きかけていきたい。事業を実施することで、融資を躊躇していた事業者の融資実行に結びついており、今後も継続していきたい。							

能勢町商工会

事業名		地域資源発掘事業							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	能勢町には古くから「銀寄栗」という地域ブランドが確立されており、道の駅「能勢くりの郷」でも収穫時期には数時間で売り切れるほどの人気を誇っている。しかし栗の栽培過程において、害虫被害や手間がかかる事に頭をかかえる生産者が多いのも現状である。また、急速な高齢化により後継者不足が進み年々生産量が減少傾向にある。そこで初心者にも育てやすいブルーベリーに着目。比較的育てやすい果樹であり、兼業農家としても栽培への負担が少ない。そして冷凍保存が可能なおことから様々な加工品の商品化、あるいは料理素材としても大変適している。町内の一部地域ではブルーベリーの育成を手掛ける事業所が年々増加はしているものの生産量は少なく、販路が不明瞭であることから生産を躊躇している事業所が数多く見受けられる。当事業により農産物の販売、加工商品の販売ルートを確認し、安心して生産できるよう本事業を推進する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	特産品開発、6次産業化に積極的に取り組む事業所、創業見込者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和2年7月28日(火) 19:00~20:30(研修会) (能勢町商工会館) ①能勢とブルーベリーについて考える 講師 ブルーベリー栽培専門家(参加者14名) ②令和2年9月15日(火) 15:00~17:00 (研修会) (能勢町商工会ブルーベリー農園内)「失敗しないブルーベリー栽培方法」講師 ブルーベリー栽培専門家(参加者16名) ③令和2年10月31日13:00~15:00(土)(交流会) (能勢けやきの里)「失敗しないブルーベリー栽培方法part2」講師 ブルーベリー栽培専門家(参加者17名) 上記参加者中心に商品開発・新規事業等の支援、事業計画書の作成、その後のフォローアップ中心に随時ハンズオン支援を実施した。(5名)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
	②広域連携	後援の承諾、セミナー実施の支援やチラシ配架等の協力を得た							
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	55.0	総支援企業数(実績)	52.0	支援実績率	94.5%	満足度	81.2
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	能勢町内は、地元の農産物に大変興味を持っている住民が多いと感じた。農産物においては、セミナー研修の甲斐あって品質の向上、保持にも繋がり、道の駅や近隣地域への出荷量も増加し、次年度からの本格的な増産への礎を築き、着実な成果となっている。 加工品においては、研究開発に取り組んで製品化を実現している飲食店、製造業者もあり、次年度以降実際に販売へと繋がりを見せた。この点においても能勢町の新たな特産品化に向けて着実に一歩を踏み出したと考えている。また当商工会で商品開発したブルーベリーシロップを能勢町観光物産センターにて販売し、大変好評を得ている。							
		代表指標	新事業創出や所得の向上につながったと満足された事業所						
		数値目標	70%	実績数値	70.0%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	商工会主導で栽培したブルーベリーを使用した加工品の製造を能勢町内事業所に依頼し、「能勢町産ブルーベリーを用いた加工品(ブルーベリーシロップ)」が成果物として完成。商品の開発過程において多くの管内事業所が携わり、今後の事業展開が期待できるようになった。							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	特に地域ブランド化、特産品化には、品質の向上、維持について生産者間の共通の認識が必要不可欠であり、次年度においても講習会を通じて周知を図る。 また、次年度以降についてはメディア媒体での紹介(大阪府地域産業資源の認定)、近隣地域との連携を目標に事業を推進していき、より多角的な視点にたって取り組みたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	100.0%	満足度	78.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	地域のブルーベリーを使った加工品を生産販売することにより事業化への可能性を確認した							
		指標	ブルーベリーを用いた地域振興に興味を持ってもらう						
		数値目標	70.0%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	85.0%	満足度	81.2
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	ブルーベリーに興味を持ってもらい商品開発のネットワークを作る							
		指標							
		数値目標		実績数値		目標達成度			
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足度	96.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	ブルーベリーを使った商品開発や販路開拓に興味をもって事業展開していく							
		指標							
		数値目標		実績数値		目標達成度			